

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年2月18日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから2月18日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

来週の委員会は、先週も説明しましたが木曜日になります。それに伴いまして、裏面の2月24日の（4）の部分ですけれども、記者会見の木曜日の2時半からということになっています。

2月25日の（5）ALPS（多核種除去設備）の審査会合ですけれども、今回で東電からの申請内容の説明は一巡することになりますので、それ以降、コメント回答の回という感じになっています。

2月25日の（7）ですけれども、緊急時対応に係る訓練及び規制の関与のあり方に係る会合ということで、これは先週の委員会で、事業者と意見交換をするということが了承された案件の初会合ということになります。

出席者は、こちら側は金子対策監、事業者側は、各電力会社の部長さんクラスとATENA（原子力エネルギー協議会）ということになっています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

カワムラさん、お願いします。

○記者 朝日新聞のカワムラです。よろしくをお願いします。

最後の規制の関与のあり方に係る意見交換なのですけれども、各電力会社というのも、電力事業者全社ということですか。

○黒川総務課長 全社ということですか。

○記者 分かりました。それだけです。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

では、ヤマダさん、お願いします。

○記者 関連なのですけれども、今ほどの意見交換ですが、これはリアルで、それともオンラインで。

○黒川総務課長 オンラインです。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—